

ホームページへの掲載	
済	令和3年7月5日 掲載

岐阜県立山県高等学校

学校長 酒井 猛
学校住所 岐阜県山県市中洞44-1 電話 0581-52-1551

- 1 会議名 令和3年度岐阜県立山県高等学校運営協議会（第1回）
- 2 開催日時 令和3年5月14日（金）
- 3 開催場所 ゼミナール室（会議室）
- 4 参加者
会長 藤木 節子 岐阜女子大学教授・元山県高等学校長
副会長 大野 良輔 山県市教育委員・元岐阜農林高等学校長
委員 山口 健二 中洞地区自治会長・・・欠席
九野 隆浩 山県市スポーツ推進員
山田 篤子 山県市主任児童委員
岡田みどり P T A会長

学校側 酒井 猛 校長
大和谷 淳 教頭
山田 達雄 事務長
佐賀あゆみ 教務主任（代理 西脇康雅 教務課長）
中谷 長史 生徒指導主事
山本 通広 進路指導部長（代理 広木英二 進路指導副部長）
- 5 内容
（1）学校運営協議会について・会長、副会長の選出
（2）学校経営計画（マニフェスト）について
（3）学校紹介、四類型（普通、商業、福祉、工業）の説明
（4）学校運営方針の説明（指導の重点について）・委員による承認
（5）意見交換

学校運営協議委員会からの提言・感想、学校側の回答

(1) 学校運営協議会制度の説明・会長、副会長の選出

(2) 学校経営計画（マニフェスト）について

意見1：校訓「自主積極」を生徒が自覚し、実践・行動できるように先生方と保護者への支援を継続していきたい。

意見2：目指す学校像である「地域に愛され、地域になくてはならない学校」「生徒一人一人を大切にし、最後まで見守り続ける学校」「生徒個々の興味・特技を最大限発揮できる場所・機会を与える学校」に向けて達成できることを願っている。

(3) 学校紹介、四類型（普通、商業、福祉、工業）の説明

意見1：現在、コロナ禍の影響で学校行事等が例年のように行われていないが、適切なコロナ対策を行い、生徒の体験・学習機会を与えてほしい。

(回答) コロナ禍の中、4月から通常授業を開始した。毎朝の生徒の健康チェックを始めとした適切なコロナ対策を行い、生徒と教員が自覚をもって頑張っていきたい。また、学校行事が進められるように工夫し、生徒の体験機会を少しでも減らさないように務める。

意見2：類型別学習は、生徒にとって可能性が広がるとてもいい学習スタイルである。受験生である中学3年生を含め、中学校や世の中に広めてほしい。

(回答) 地域の方々等に本校の様子を知ってもらうために「学校ホームページ」の更新を増やす。山県市役所に協力していただき地域と本校との繋がりを伝えたい。2年次生工業類型の企業実習では、本校のセールスポイントとして「地域に愛され、地域になくはならない学校」という目標に繋げていきたい。

意見3：四類型（普通・商業・福祉・工業）になったことで、生徒の選択肢が増え学習に対する目標がさらに明確になり、学習に前向きになっている。

意見4：2年次の工業類型は、毎週企業実習（デュアル・システム）に行っている。企業では挨拶が大切であることが実感でき、今後の進路選択に大きく役立つ。

意見5：類型選択はいつ行っているのか。

(回答)

類型体験（校内での模擬授業や国際たくみアカデミーでの校外研修）をしたり、3年次生の各類型代表の話を聞いたりして1年次の6月に希望を取る。そのうえで1年次の三者懇談で保護者に確認を取る。生徒のやりたいこと優先に決定している。

意見6：運動系部活動に頑張ってもらいたい。大会やイベントに積極的に参加し、学校以外に場所でも活躍をしてほしい。挨拶と礼儀ができる生徒を育ててほしい。

意見7：きめ細やかな取組をしてもらっている。今年度の新たな取組も具体的に説明してもらえ、先生方にそのように進めてもらいたい。学校に来た時に今までの空気と違ったものを感じられた。生徒理解を深めるため、異動した教員とも連携をとってほしい。生徒が自信をもって学習できる環境をつくっていただきたい。今後もPTAの方や地域の方と連携して学校運営を進めてほしい。

(4) 学校運営方針の説明（指導の重点について）

○生徒指導部について

意見1：1年次の登校の様子はどうか。

(回答)

1年次の生徒は元気に登校している。朝の健康チェックで一人一人に声をかけ会話をし、生徒を見守っている。また、心配な生徒については担任、学年主任が連絡を取り本人と話したり保護者に来ていただいたりして様子を見ている。継続して見守っていく指導をしている。

指導の重点は「基本的生活習慣の確立」「人権意識の深化」「安全意識の高揚」「教育相談の充実」である。教員は粘り強く、気長に根気よく、愛情を持って生徒と付き合い指導をしていく必要がある。

「時間を守る指導」のために遅刻指導の重点化を掲げた。生徒の指導に当たっては、まず担任による指導、次に学年主任、次に生徒指導部長、管理職と順を追いつつ、本人の理解が深まるよう粘り強く指導する。

○進路指導部について

意見1：今年度、「類型別学習」で学んだ生徒が進路選択を迎える。どのような進路選択をするのか楽しみである。先生方には生徒の進路実現に向けて指導をお願いしたい。

意見2：類型ごとの学習がよい進路選択になるようお願いしたい。

意見3：企業実習（デュアル・システム）は地域企業の方々の協力で行っている。企業の方々に感謝し頑張ってもらいたい。

（回答）

昨年からは類型別学習がスタートし、そこで学んだ生徒の最初の進路選択になる。校内、校外での学習を生かし生徒の進路を実現するため、生徒と保護者と教員の対話を増やしていきたい。

昨年度まで求人票は紙ベースでの閲覧であったが、今年度はタブレットにより生徒が閲覧できる環境を整備する。

工業類型の企業実習については、「研修させていただく」という謙虚な気持ちで臨むよう指導している。特に担任は、SHRや保護者懇談などで、生徒に工業類型生徒としてどのような姿勢で臨むべきか、また、他のクラスとは異なり、貴重な経験をさせてもらっていたらいい等の話をしている。

○地域連携について

意見1：地域連携はどのような取組をしているか。

（回答）

企業実習（デュアル・システム）を行っている。

福祉類型の生徒が地域の小学校に出向いて「読み聞かせ」を行っている。老人ホームに訪問し、校外実習を行っている。また、幼稚園や保育園に訪問し幼児教育について学習を行っている。

商業類型は地域販売について協力できることを計画している。

地域の八つの中学校に広報ボードを設置（7月、11月に張り替え）しているが、今後は、地域のバス停や公民館等への設置を検討していきたい。

清掃ボランティア活動を本校と美山中学校が一緒に行う。

「ひびきあいの日」を設け、交通安全指導や挨拶運動を行っている。

山県警察署と協力し地域の防犯活動を計画している。

本校周辺の地域清掃ボランティア活動を行っている。

（6）会議のまとめ

第1回学校運営協議会において、学校運営方針等について委員全員より承認を得られた。